

# 事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策1-2-3 農林水産業の担い手の確保・育成
---------	-------------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	林業課長 桑本幸夫	電話番号	0852-22-5167
----------	-----------	------	--------------

事務事業の名称	森林組合育成事業		
目的	(1) 対象	森林組合（森林所有者、組合員）	
	(2) 意図	経営基盤の強化を図る	
事業概要	森林管理の中核的な担い手である森林組合に対して、「森林組合の育成に関する島根県指導指針」に基づき、森林施業の集約化の推進、経営基盤の強化、経営体制の強化などを進めるため、森林組合の運営指導、職員のスキルアップや役職員のマネジメント機能の強化など森林組合システムの自主的な取り組みを支援する。		

## 2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	中長期経営計画策定組合の割合	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		11.00	11.00	12.00	13.00	
式・定義	中長期計画策定組合数		実績値	10.00	10.00	11.00	11.00		組合
			達成率		90.90	100.00	91.70		%
指標名			年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
式・定義			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

## 3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	1,135	1,131
うち一般財源(千円)	1,135	1,131

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・これまでに、中長期経営計画を策定して経営改善に取り組む森林組合は、11組合（しまね東部、松江、大原、仁多郡、飯石、大田市、邑智郡、江津市、石央、隠岐島後、隠岐島前）となっており、うち2組合（仁多郡、飯石）で計画更新が行われた。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

・県内の森林組合では、経営基盤の強化を図るために広域合併が行われ、現在13組合となっているが、森林所有者の林業経営意欲の減退、不在村森林所有者の森林の増加など森林組合経営は更に厳しさを増しており、地域における林業の中核的担い手として組合の体制強化を目指し、中長期経営計画を策定して経営改善等に取り組む組合が現れるなど、経営強化が図られた。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

### ①困っている「状況」

- ・中長期経営計画を未策定の森林組合について、計画策定を指導する必要がある。
- ・既に中長期経営計画を策定した組合においても、計画の実行が困難な組合がある。

### ②困っている状況が発生している「原因」

- ・森林整備等の公共事業への依存度が高い組合などでは、国や県などの予算により経営が大きく左右され、計画策定の必要性を十分認識していない。
- ・木材生産を進める組合でも、木材価格の変動により収支が変動するなど厳しい経営環境が懸念される。

### ③原因を解消するための「課題」

- ・森林の施業・経営の集約化を進め、「伐って、使って、植えて、育てる」循環型林業を早期に確立して、国や県などの予算により経営が大きく左右されることの無い、独自の事業展開を確保し、経営安定化を図る必要がある。

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・中長期経営計画を未策定の組合においても、組合内で経営ビジョンの共有などを進め、計画的な事業実施を行うため、引き続き中長期経営計画の策定を指導する。  
 ・既に中長期経営計画を策定した組合については、計画の実効性を高めるため、県森林組合連合会や県と連携して進行管理に努め、計画に対する成果への評価や改善策の検討等、必要に応じて中小企業診断士等専門家の指導を受けるなど計画のローリングを指導する。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

## 9. 追加評価（任意記載）

・緊急雇用創出事業（地域づくり事業）により実施している「林業事業体経営改善指導事業」により、今年度、2組合（出雲地区、隠岐島後）に中小企業診断士等専門家を派遣し、経営改善を図る予定。